

二月例会御案内 (平成二十三年)

○ 御案内

時代を刷新する会

日時 二月十日(木) 正午～二時半 参議院議員会館・B104会議室 (二九七回)

講題 派閥・権力闘争の実情と対策!

講師 高橋利行先生(政治評論家、元読売新聞解説部長・論説委員・編集局次長)

皆さん、長年、日本政界を見て、どうお感じになりますか。自民党政権時代もそうでしたが、党内に派閥が出来、互いに権力闘争を繰り返して、その反省もあって、中選挙区制を小選挙区制に変更しましたが、多少、弱まったとはいえ、なお派閥・権力闘争は収まらず。政権交代で、民主党政権となった今日でも、収まるどころか、むしろ民主党内の対立は激化している感があります。これは、日本政治の宿命なのでしょうか?、なんとか是正できないものではないでしょうか。

特に、わが国が経済・財政・外交・安全保障などで危惧されているいま、対策が必要です。

そこで今回は、読売新聞政治部記者として主要派閥や自民党を担当。首相官邸記者クラブ・キヤップ、政治部次長、解説部長、論説委員、編集局次長を経て、平成十五年から政治評論家として独立。この課題の権威者・高橋利行先生に御解説をいただきます。奮っての御参加を!

(清原記)

□ ◎ 当日の会費 四千元(昼食の準備もあり、前日までに欠の御連絡をいただきました)

御報告

正月の月例会は、恒例により、「新春懇親会」といたしました。今年も、平成二十三年一月十八日(火)正午より、ホテル・ルポール麹町三階「マーブルの間」にて、開催いたしました。新年会は、昨年のように外部講師(元皇族竹田恒泰様)による記念講話の場合もありますが、本年は、財政・経済・景気・安全保障・教育等々、国政全般にわたり、極めて厳しい年であるとの認識から、政界での経験が深く、政策にも強い、当団体の江口一雄会長代行に、皆様への新春の御挨拶とともに、国政・政策について分析・解説をいただきました。

江口会長代行は、御自身の経歴・体験を踏まえ、国会議員の役割は常に国家の進路を見定め国民の生命財産を守ることにありますが、近年は、小選挙区のせいか国会議員がサラリーマン化しているところの問題がある。経済・景気も「仕事をつくるのは政府の役目」として智恵をしばらなければならない。尖閣諸島や竹島や北方領土など領土問題・安全保障は断固守る決意が必要である。日本の原子力発電や新幹線など優れた技術を外国トップもしているように、総理や閣僚が積極的に出向くべきである。また、あらゆる活性化の根底には教育がある。政治も経済も劣化している今こそ当団体の存在意義がある、等々の年頭所感がありました。そして、乾杯のあと、祝宴となり、そして、参加会員から、所信表明があり、お正月らしい歌の披露もありました。なお、この「新春懇親会」については、後日送付の『写真報告』をご覧ください。

▽ 当「時代を刷新する会」は、「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって設立されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長。第三代が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元財務大臣は、昨年七月、九十歳を機に辞任され、現在は、江口一雄元衆議院議員が会長代行に就任している。理事長は、平成十四年から半田晴久が就任しております。毎月の月例会のほか、内部に、教育部会、医療福祉部会など八つの部会と、環境技術委員会、新エネルギー委員会などの委員会があり、これまでに、政府へ一三四本に及ぶ要請書・意見書を提出するなど、活発な活動を展開しております。

▽ お知り合いで、こうした志のある方をお誘い下さい。(年会費は一口一万円)

事務局電話(03) 3272-4320 専務理事兼事務局長・清原淳平、総務 重田、高津

◎ 添付のハガキ、または、FAXにて、前日までに、当事務局まで、御返信をいただきました。

▼ 事務局FAX(03) 3507-8587

御芳名

貴方様のFAX番号

二月十日(木) 出 欠(いずれか○)

参議院議員会館・地下一階・B104会議室